

第二回及び第三回部会の報告

1 開催概要

1) 第二回部会

- 日 時 令和7年3月26日（水）午前10時00分から正午
- 場 所 前原暫定集会所 A会議室
- 主な議題 ① 前回会議でのご意見について …資料1
② 検討の前提条件の再整理について …資料2
③ CoCo バスの再編計画案について …資料3

2) 第三回部会

- 日 時 令和7年5月19日（月）午後3時00分から5時00分
- 場 所 前原暫定集会所 A会議室
- 主な議題 ① 前回会議でのご意見について …資料1
② CoCo バスの再編計画案について …資料2

2 協議結果

検討の前提条件や今後の検討事項に対する主なご意見は以下のとおり。

2.1 第二回部会

1) 協議内容

- ・別紙のとおり再編検討の前提条件について、第1回部会の協議内容を踏まえ、整理した内容を合意した。
- ・部会資料3：CoCo バスの再編案（再編の方向性）について説明し、課題等を確認した。

2) 主な意見等

- 中町・東町循環を廃止するのではなく、周辺の路線バス等も含めて減便や路線の変更により公共交通空白地域を出さないよう検討を行うことについて、対象とする路線の選定理由等の意見をいただいた。
- 中町・東町循環2台分に必要な運転士は3.6人/日であり、そのボリュームを何とか削るということをすれば、京王からの申入れはクリアする。
- 中町と東町での公共交通の運行が全く何もなくなってしまうことを避け、2台3.6人を効率化するには、隣接地域に食い込んだ形で市域全体を見直してみ、中町と東町も確保しながら、全体でその分を減らせるような方法はないかという視点で案を考える必要がある。
- ガイドラインとの整合性を考慮しつつも、市全体の交通ネットワークを確保するためには運行基準を満たせるのか、難しいのではないか。
- バスではなく乗合タクシー等の導入も含めて検討を行うのかという確認について、現在の利用者数の状況等を鑑みると乗り残しも考えられることから、バスにて検討を行

うこと、また、再編運行後に生じた課題については地域公共交通計画に基づいて「新たな交通手段や運行形態の検討」、「新たな技術等の活用・連携」として取り組んでいくことを合意した。

- 再編案について、明らかにサービスレベルが低下するような案は除き、一定の利便性を確保できる案をもとに今後の検討を行うことがよい。
- 市民及び利用者への周知について、方法や伝え方が非常に重要であり、公表できる段階において随時、お知らせしていくこと。

2.2 第三回部会

1) 協議内容

以下のとおり確認を行った。

- ・部会資料2：現在の路線バスの運行状況、利用状況及び他の CoCo バスの状況から、以下の路線を対象として再編の検討を行うことについて合意した。

【CoCo バス】 中町循環、東町循環、北東部循環

【路線バス】 関野橋循環（東 01・02 及び関連する武 03・04）

各ルート案（たたき台）に対する課題を確認し、引き続き部会において具体的な事項を整理して、ルート案の提示は地域説明会で行えるよう協議していくこととした。

2) 主な意見等

- 各ルート案に対して、考えられる影響やメリットデメリット、例えば、1 時間当たりの便数、影響を受ける可能性がある利用者数などについて各案に対する意見を出し合い検討した。
- 引き続きルート案について検討を行う。